

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	草加市児童発達支援センターあおぼ学園（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 3月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 12日		～ 令和8年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 1月 14日		～ 令和8年 3月 5日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	27施設	(回答数) 24施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運営の方針や、支援の内容を、丁寧にわかりやすくお伝えすること。	運営の方針に関しては、契約書・重要事項説明書とは別に、ご説明のためのお手紙を配布させていただいております。 また、訪問先施設にも、同様の内容のご説明のためのお手紙をお渡ししております。 上記のように、口頭説明だけにならないよう工夫しております。	変更があった場合にも、目で見えわかりやすい形でご説明できるように、今後も配布物等を用いて対応していきます。
2	プライバシーに配慮した個室や、教具教材を用いたフィードバック。	図解できるよう、ホワイトボードを使用したり、制作物は同じようなものを作成し、フィードバックに用いることで、視覚的にもわかりやすいことを心掛けております。	フィードバック面談で使用できるものにとどまらず、実際の支援や、訪問先施設の先生方とお話する際にも利用できるような教具教材を検討し、順次導入していきます。
3	各職種の専門性を活かした、お子さんや保護者のニーズに合わせた支援内容や個別支援計画の設定。	個別支援計画の作成や、実際の訪問支援の前後に、訪問支援員同士で意見を出し合ったり、助言し合うことで、支援内容の知識や引き出しを増やすことを心掛けております。	内部での研修やカンファレンスに限らず、外部の研修を受けるなどして、知識や支援内容の幅を広げられるような工夫をしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSやホームページを利用した情報の発信。	ホームページは、出来たばかりのものでどのように扱うことが適切かなど、理解が及んでおりませんでした。	ホームページに載せられる情報を検討し、掲載できるよう準備します。 また、定期的なお便りの発行など、情報を発信できる方法を検討します。
2	緊急時や災害時の対応についての情報の共有。	緊急時の対応について、より具体的なフローを作成している段階でございました。	完成したフローの内容を踏まえて、保護者や訪問先施設と共有すべき情報を精査し、共有していきます。
3	お子さんや保護者からの相談の申し入れについての対応に関する周知。	契約時に、お困りごとがあればいつでも相談を受け付けていることをお伝えしているが、契約後に再周知する方法や機会がございませんでした。	契約時のお声がけは続けながら、契約後にも、困りごと等があればいつでも面談等の対応ができることを周知していきます。